

「慶北大学校サマースクール参加報告書」

京都大学医学部三年 草野瑤

このサマースクールプログラムでは、12日間という短い期間だったが、韓国語だけでなく、韓国文化をたくさん学ぶことができた。学生には、8人の慶北大学の BUDDY さんが付き、私たちの韓国短期留学を非常に楽しいものにしてくれた。

韓国語の授業は、大きく分けて二つのレベルに分けられており、私たちは自分のレベルに合った授業を自由に選択することができた。私はレベル1（初級）の授業を取っていた。授業は合計6回あり、基本のハングルの読み方や発音の仕方から始まり挨拶や文法も学習した。6回目の最後の授業では、記憶があいまいであるが、「7番部屋のプレゼント」といったようなタイトルの韓国の映画を見た。字幕も音声も韓国語だったので最初はストーリーを読み取ることに苦労したが、韓国の映画は大変ストーリーが分かりやすく、感動的だった。クラスのほとんどの人が最後には涙を流していた。

韓国の文化体験では、韓国流の茶道、サムルノリ、テコンドー、観光など様々な異文化体験ができた。私は特に、サムルノリが一番楽しく、初めての楽器だったが、みんなで一つのものを作り上げる楽しさを改めて実感した。

留学のちょうど真ん中に、ソウルへの小旅行があった。大邱から慶北大学校のスクールバスで6時間ほどかけてソウルへ行った。ソウルでは個人行動だったので、自分が行きたかった明洞で買い物を楽しんだ。

私たち、京都大学は、「日本のおもてなし」に関してプレゼンテーションを行った。日本のおもてなしについても一度考える機会を設けていただき理解を深められたとともに、韓国側から「韓国のおもてなし」についてのプレゼンテーションもあり、韓国のおもてなしも学ぶことができた。

日本と韓国は近い国で衝突もあるかもしれない。メディアでは反日と言われることもしばしばあるが、私は実際に韓国に行き、韓国人と交流することができ、韓国が大好きになり、韓国についてもっと知りたいなあとおもった。メディアの情報に振り回されず、自分が韓国の短期留学で得ることができた、この気持ちをいつまでも大事にしたいと思う。